

基本情報



【年 齢】
45歳
【出身地】
福島県福島市
【転出元】
千葉県流山市
【前 職】
介護職
【活動時期】
R4.4～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

地元福島では湿った雪が降りますが、冬の片品村はパウダースノーが降ると聞いて、数年前の冬に初めて訪問しました。パウダースノーや雪山の美しさだけでなく、自然が豊かで、夏は涼しく、野菜や水が美味しいことに惚れ込み、何度も訪れるようになりました。いつか移住して農業を学びたいなあと夢見る中、片品村地域おこし協力隊の募集に出会い、片品村での実生活を体験するまたとない機会と思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

前職の介護職での経験を片品村での介護予防や高齢者がいつまでも働ける環境作りに活かしたいと思い、高齢者の方から農業を教わりながら、何かしらの援助ができれば、高齢者の介護予防にも寄与することができるのではないかと、さらには高齢者の就労継続支援事業や福祉農園の立ち上げなど、高齢者の居場所作りをしたいと考えています。

また夏のクーラーの要らない快適な環境を利用したワーケーション基地やコワーキングスペースなど、村に雇用や働く世代を呼び込む事業も展開できたら素敵です。

活動内容

●地域包括での介護予防事業の運営

地域包括支援センターでは介護予防体操教室やコミュニティカフェ、介護予防サポーター養成講座などを開催しています。また社会福祉協議会が行う移動販売や地域交流サロンを手伝いながら、地域の困り事や要望などをヒヤリングし、新たな介護予防事業を展開する。

●高齢者の農業継続を支援

高齢者の農作業を手伝いながら、教えてもらうという相互扶助関係を築く。また独居高齢者の安否確認や見守り、話し相手も兼ね、一人で農業を継続するコツや雪深い山間地域で生活の知恵を伝授してもらうとこで、生きがいややりがいを見つけてもらう。

●大規模農業の研修

片品村は冷涼な気候を利用した初夏から秋にかけて大根やトウモロコシ、トマトの栽培が盛んです。首都圏に出荷する農家での農業研修。特に大根は「おはよう百万」と言われるほどかつて稼いでいたと言われ、その生産、出荷におけるノウハウを学ぶ。

●観光資源の体験と発信

片品村は春から秋まで四季折々に変化する尾瀬や武尊山、白根山でのトレッキングや高地でのキャンプ。冬はウインタースポーツが楽しめるので、実際に体験し、その活用を探り魅力を発信する。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

〒378-0415 群馬県利根郡片品村大字鎌田3967-3

片品村役場 むらづくり観光課

(メールアドレス) omagari-f@vill.katashina.lg.jp

(電話番号) 0278-58-2112